



白老コミセン

新春

令和6年 白老町新年交礼会

約210人が活躍と健勝を祈り、まちづくりへの抱負新たに



桑田正博町内会連合会会長はあいさつで、昨年の町長選、町議選に触れ「これからの白老町の発展のために何をさせていただけるのか、さらなる飛躍に期待します」とし、町内会においては「住んでよかったと思える町内会をみんなの手で」と改めて三つのスローガンを強調。「将来のまちづくりをここにお集まりの皆さんと一緒に考えていきましょう」と締めくくりました。大塩英男町長は「町制施行70周年を迎える年。新しい挑戦に全力で取り組んでいきたい」と意気込みを披露しました。戸田安彦道議など来賓あいさつの後、小西秀延町議会議長の音頭で乾杯。4年ぶりに飲食を提供した開催となり、一段と和やかな雰囲気の中、年の初めを祝いました。各関係者が能登半島地震で亡くなられた方への追悼の意を述べていました。



町連合だより

白老アイヌ協会会員とウポポイ職員により披露された古式舞踊



12月14、15日 ブロック別交流会を開催しました

今年度は苦小牧警察署生活安全課と白老町役場生活環境課から講師を招き、毎日のようにテレビや新聞で報道されている特殊詐欺の手口と対処方法などを学びました。白老コミセンと萩野公民館の2カ所で開催して延べ40人が参加しました。参加者からは「なぜわれわれの電話番号が知られるのか?」「どうしたら防止できるのか」など活発な質問がありました。苦小牧警察署生活安全課職員は「いろいろな分野で電話番号が売買されており、不審な電話には応対しないことが重要」と答えていました。

特殊詐欺への対応学ぶ

白老町町内会連合会から皆さまへ贈る生活のスローガン

毎年、定期的に健康診断を受けましょう
健康診断は自分を守る指標です